

学校教育目標

いきいき のびのび  
 ☆かんがえる子  
 ☆やさしい子  
 ☆げんきな子  
 ☆なかよくする子

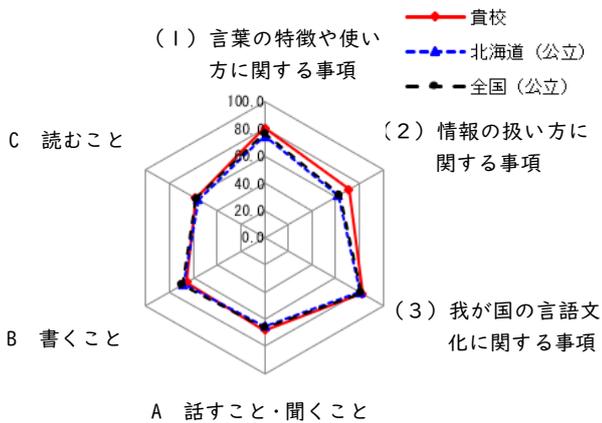
令和8年3月18日発行 江別市立上江別小学校  
 URL [https:// www.ebetsu-city.ed.jp/kamiebetsu-es/](https://www.ebetsu-city.ed.jp/kamiebetsu-es/)

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果概要について

早春の候、寒さの中にもようやく春の兆しを感じられる季節となっておりましたが、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力をいただきまして感謝申し上げます。

さて、6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」が令和7年4月17日（木）に実施され、今年度は「理科」も実施されました。この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証して今後の学習指導の充実や改善に役立てることを目的としております。以下に本校児童の傾向と概要を示します。結果の公表が遅くなりましたことをご詫び申し上げます。

**国語** ○全国平均と比べ、やや上回っています。



令和7年度実施の「全国学力量習状況調査問題（国語・算数・理科）」の詳しい内容は、以下のQRコードからご覧いただけます。



【●2三の問題】 ↓

**物を包む使い方**  
手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

**物を包む使い方**

※上の図解は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
 ※●の印から横書きで書きましょう。とらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

**【調べたこと】**

(本を読んで分かったこと)	(使ってみて分かったこと)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックカバー               <ul style="list-style-type: none"> <li>何冊か折るだけで、すぐに完成する。</li> <li>本の大きさに合わせて包むことができる。</li> </ul> </li> <li>ペットボトルカバー               <ul style="list-style-type: none"> <li>ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックカバー               <ul style="list-style-type: none"> <li>よごれがつかのを防ぐことができよかった。</li> <li>落としたときに、本がきずつかなかった。</li> </ul> </li> <li>ペットボトルカバー               <ul style="list-style-type: none"> <li>水でしが荷物につかなくてよかった。</li> <li>温かい飲み物が冷めにくかった。</li> </ul> </li> </ul>

三 山田さんは「ちらし」の書き出しについて友達に相談し、「ちらし」の部をわけて書いたほうがよいと考え、次の「調べたこと」を見直し、「あなただけ山田さんなら」という書き出しを書き直します。

**【ちらし】**

**手ぬぐい**  
手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさは、どのようなものでしょう。

**よさ1 もよう**  
さまざまなよさがあり、好きなよさを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

**季節を感じるもよう**  
手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

**しゅみやすきなものに合わせたもよう**  
スポーツや音楽などに関連するもようの手ぬぐいもあります。相手のよさに合わせて、もようを選び、おくることができます。

**よさ2 使い方**  
手などをふくだけでなく、身に着たり、物を包んだりすることもできます。

**身に着ける使い方**  
いあついに、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゆうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

**物を包む使い方**  
手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

2 山田さんの学校では、伝統工芸品について学んでいるクラスがあります。山田さんは、手ぬぐいのよさについて、いろいろな文章を、次の「ちらし」に書いています。これをもとに、手ぬぐいのよさについて、いろいろな文章を、次の「ちらし」に書いてください。

【よくできた問題】

● 3三(2)の問題

【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く問題

〈問題について〉

- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる記述問題。本校の課題であった記述問題において、全国平均と比較して平均正答率が上回っていました。資料を踏まえ、問題の示す条件に即して、自分の考えをまとめる力を着実に身につけていると考えます。

【あまりできなかった問題】

● 2三の問題

【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く問題

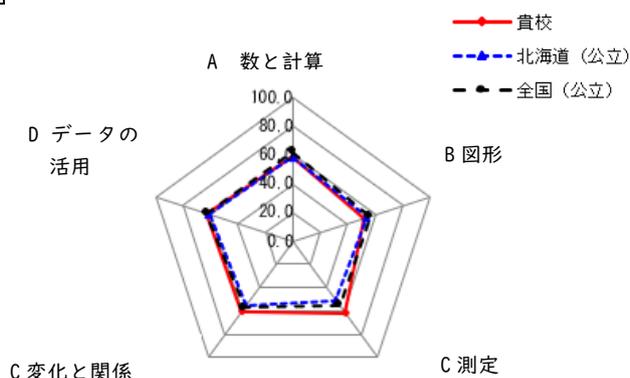
〈問題について〉

- ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる記述問題。こちらの記述問題は全国平均と比較して平均正答率が下回っていました。問題が示す条件の3つ全てに合致していないことや無回答率が高かったことが要因と分析されます。結果を踏まえ、全学年の授業において、自分の考えを記述する機会を意識的に増やし、対策を講じました。

算数

○全国平均と比べ、やや下回っています。

【●2(2)の問題】↓



(2) わかなさんは、方眼紙に下の 1 から 5 までの四角形をかきました。下の 1 から 5 までの中で、台形はどれですか。3つ選んで、その番号を書きましょう。

【よくできた問題】

● 4(3)の問題

はかりが示された場面で、図りの目盛りを読む問題

〈問題について〉

- ・はかりの目盛りを読むことができるかどうかをみる問題において、全国平均と比較して平均正答率が上回っていました。授業におけるICT化が進む中でも、実物のはかりを用い、児童が実際に目盛りを読む活動を丁寧に行なった成果といえます。

【あまりできなかった問題】

● 2(2)の問題

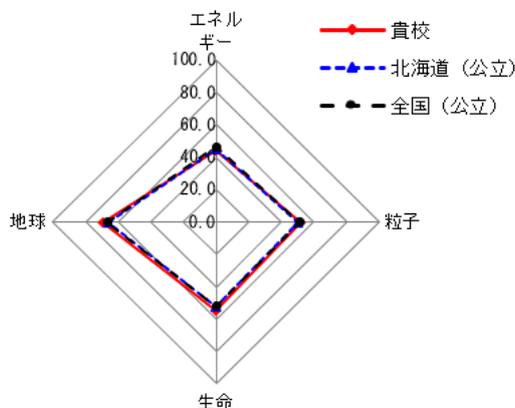
方眼上の5つの四角形の中から台形を選ぶ問題

〈問題について〉

- ・台形の意味や性質について理解しているかどうかを見る問題において、全国平均と比較して平均正答率が下回っていました。図形の定義や性質を理解できていないことがその要因と分析されます。

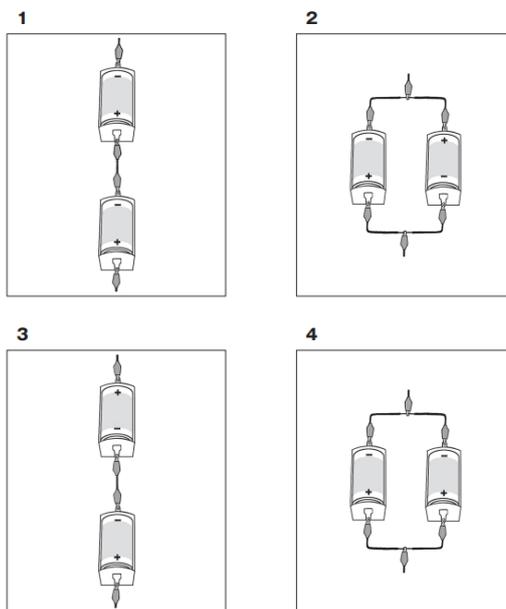
結果を踏まえ、全学年の「図形」領域の学習において、児童が自分の言葉で「三角形」や「四角形」「直角三角形」「平行四辺形」「台形」などの図形の定義や性質を説明できるよう授業内容を工夫し、対策を講じました。

**理科** ○全国平均と比べ、やや上回っています。



【●2(4)の問題】 ↓

(4) かん電池2個を直列につなぎ、電磁石の強さを最も強くできるのは、どのようなつなぎ方ですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



**【よくできた問題】**

●1(2)の問題

赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いのまとめ方について、結果を用いて理由を書く問題

〈問題について〉

- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができるかどうかをみる記述問題において、全国平均と比較して平均正答率が上回っていました。全教科において、自分の考えを記述することを重視し、取り組んできたことの成果と考えます。

**【あまりできなかつた問題】**

2(4)の問題

乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶ問題

〈問題について〉

- 乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いているかどうかをみる問題において、全国平均と比較して平均正答率が下回っていました。直列つなぎは4年生で学習する内容です。全国学力・学習状況調査の理科の問題は、3年生から5年生の学習内容から多岐に渡って出題されます。学習した学年において知識・理解を確実にすることはもとより、学習後も学習内容を振り返り、より確実に知識・理解の定着を図ることを重点とし、対策を講じました。

**児童質問紙** ~学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査~

**【肯定的な回答の割合が全国平均と比べて高かった項目】**

- ① いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ② 人が困っている時は、進んで助けていますか。
- ③ 5年生までの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表スライド）を作成できると思いますか。

〈結果に関して〉

- ・児童質問紙の結果から、各種取組や道徳の授業を通じて、思いやりの気持ちや、いじめをしない・起こさせないという意識を着実に育むことができていると考えます。引き続き、安心・安全な学校作りを進めて参ります。
- ・児童質問紙の結果から、I C T機器を使っての情報収集やプレゼンテーション作成に自信があるという実態が読み取れました。本校の重点として取り組んできた成果といえます。今後も、授業において積極的な活用を進めて参ります。

**【肯定的な回答の割合が全国平均と比べて低かった項目】**

- ① 国語の授業で、先生はあなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか。
- ② 算数の勉強は得意ですか。
- ③ 算数の勉強は好きですか。

〈結果に関して〉

- ・国語の正答率は、全国平均を上回っているものの、児童は、児童の資質・能力の変容を担当が把握し、フィードバックがなされていないと感じていることがわかりました。本結果を踏まえ、国語のみならず、各教科及び、学校生活において、担当が児童の資質・能力の変容を把握し、児童にフィードバックすることを重点とし、取り組んで参りました。
- ・算数の正答率が、全国平均を下回っている実態と本回答の結果を重く受け止め、再度本校の算数の授業の在り方を見直して、改善を図りました。また、本校に勤務する学習サポーターと特別支援教育支援員の計3名を重点的に算数に配置してきました。児童が「算数が得意」「算数が好き」と思えるように引き続き取り組んで参ります。

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証してその改善を図るためのものです。学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立て、さらにそのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証サイクルを確立することを目的としております。調査結果が、学力全体を特定するものではなく、学校における教育活動の一側面であることをご承知おきください。